

第24回 細胞生理学セミナー/GTRセミナー

2020.1.9 15:00-16:30 @ 創薬科学研究館2階 講義室 205

鈴木 淳 教授

京都大学 高等研究院 物質—細胞統合システム拠点 (iCeMS)
京都大学 生命科学研究所 細胞動態生化学

“Unbiased screeningを組み合わせて分かってきた
脂質動態の制御機構”

大学院創薬科学研究科 先端薬科学特論：単位認定講義

細胞膜を構成するリン脂質は非対称性を有しており、スクランブラーゼの働きによって、その非対称性は崩壊する。これにより、血液凝固、死細胞の処理、細胞融合等のプロセスがうまくいくと考えられている。しかしながら、スクランブラーゼの分子の実体は長らく分かっていなかった。我々は、cDNA library screening、sgRNA screening、protein interaction screeningなどの unbiased screeningを組み合わせてスクランブラーゼの分子同定、サブユニットの同定、並びに活性化機構を明らかにしてきた。本講演では、それらのアプローチを基に脂質動態の制御機構について討論したい。



連絡先
名古屋大学細胞生理学センター 阿部 一啓
kabe@cespi.nagoya-u.ac.jp 052-747-6838